

★平和憲法の問題で安全保障を！

一昨年八月の劇的な政権交代。平和問題に関心を持つ私たちは、不十分ながらも、民主党の平和・防衛マニフェストに期待を寄せたものでした。しかし、今その期待が急速にしぼんで、実質改憲にすら見えてきています。

★公約は「専守防衛」ではなかったのか？

◆新安保懇報告そして今回の防衛大綱。この中身は民主党の公約「専守防衛」からほど遠い、極めて攻撃的で周辺諸国の警戒を呼び起こす内容です。

◆確かに北朝鮮と中国の動きは心配です。しかし、だからといってアメリカ追従、日米軍事協力体制強化は行き過ぎではありませんか？

★武器輸出三原則見直しへの未練

◆今回の防衛大綱では、明記されませんでした。これからの検討は続けると、武器輸出三原則見直しに対する未練は見えてきます。

◆これは、アメリカと日本の経済界の死の商人たちの要請に応えようとする、極めて危険な考えです。日本製武器が世界の子供を殺すことにならないように！

★普天間問題、思いやり予算はどうなる？

◆普天間基地移転は、きつぱりと沖縄県内移設をあきらめて、国外移転をアメリカと誠意を持って話しあうべきです。

◆拍手喝采をあびた事業仕分けでも、アメリカ軍に対する思いやり予算は手つかずでした。ここにも、アメリカ追従の体質が見られます。

★安全保障は平和憲法の問題で

◆鳩山前総理が選挙公約で打ち出した「東アジア共同体構想」はどこに行ったのですか？これでは旧自民党への先祖帰りです。こと平和問題に関しては実質改憲への道と同じです。

◆どうか、平和憲法の問題でもう一度考えなおして下さい！

二〇一一年一月九日(日) 第五二七回憲法を守る平和行進
浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

「二・一一思想と信教の自由を守る静岡県西部集会」のお知らせ

日時・会場 二月十一日(金)午後2～4時 浜松市地域情報センター
講演「歴史の偽造を許さないために」・満州事変から八十年、太平洋戦争から七十年・・・
講師 渡辺 賢二氏(明治大学講師)

